

八幡市が水道料金を値上げへ

値上げ率17%、総額1億7000万円の値上げ

八幡市は9月議会で、水道料金を来年度から17%値上げする条例案を提出。市民の負担は1億7000万円も増えます。

八幡市の水道料金のなかで、京都府の府営水道への支払いが30%を占めています。しかも、八幡市が使用していない水量分も基本料金として年間1億3000万円も余分に支払っています。

今回の値上げは、京都府が府営水道の料金を大幅に値上げしたことが一番の原因です。しかも市は、府にたいし府営水道の過大な水需要にもとづくダム建設や高い府営水道料金の引き下げを求めず、市民の水道料金にそのまま上乘せしようとしています。こうした府営水道のあり方を見直

すことこそ急ぐべきではないでしょうか。

料金減免制度の拡充も拒否

一般世帯での水道料金の変化を使用水量ごとに見ると、使用水量が低いほど値上げ率が大きくなります。使用水量5立方メートルでは103%増、2.03倍の値上げです。10立方メートルでは48%増、20立方メートルでは18.8%増です。50立方メートルでは6.5%増、100立方メートルでは3.5%増です。

八幡市は、低所得者への水道料金減免制度の拡充も拒否しました。

賃金や年金の切り下げで暮らしがきびしくなっているもとで、さらに家計に追い打ちをかける値上げです。

低所得層ほど負担重い

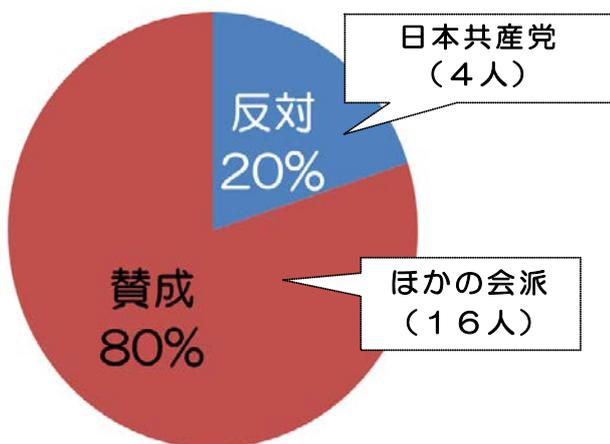
水道料金 値上げ案

これでいいのか八幡市議会！

家計に追い打ち。値上げに反対 日本共産党

水道料金値上げ条例への態度

他の会派は何も言わずに賛成



議長は採決に参加していません。

八幡市議会で、水道料金を値上げする市長の提案(条例)に真正面から論戦し、値上げ反対を主張したのは日本共産党市議団だけでした。他の会派、無所属の議員は何ものべずに値上げに賛成しました。これでは市民の暮らしを守れません。市民の声を市政に届けることが議会の大切な役割です。日本共産党は、議会が本来の役割を果たし、市民の声を市政に届ける改革を進めるよう求めます。

市民の声届く議会へ